

令和 8 年度 水中部施工状況調査積算基準 対比表

掲 載 頁	現行（令和 7 年度）	改定（令和 8 年度）	コメント
3. 標準歩掛 P.5	<p><b>3-3-2 業務成果品</b></p> <p>報告書の電子納品及び印刷・製本に要する費用は、下記の式により算出する。 ただし、印刷・製本部数は 3 部迄、電子納品は正副合わせて 2 枚とし、これにより難い場合は別途見積等により考慮する。</p> $\text{業務成果品費} = \text{労務費} \times \{0.7\% + (\text{印刷製本部数} \times 0.2\%) \}$ <p>なお、業務成果品費は、有効数字上位 2 枝、以下切り捨てとし、最高 20 万円を限度とする。 また、労務費には、設計業務の直接人件費は含まない。</p>	<p><b>3-3-2 業務成果品</b></p> <p>報告書の電子納品及び印刷・製本に要する費用は、下記の式により算出する。 ただし、印刷・製本部数は 3 部迄、電子納品は正副合わせて 2 枚とし、これにより難い場合は別途見積等により考慮する。</p> $\text{業務成果品費} = \text{労務費}_{\text{(潜水調査員)}} \times \{0.7\% + (\text{印刷製本部数} \times 0.2\%) \}$ <p>なお、業務成果品費は、有効数字上位 2 枝、以下切り捨てとし、最高 20 万円を限度とする。 また、労務費には、設計業務の直接人件費は含まない。</p>	記載を追加